

留学中の鷗外と

かよい合う書簡集

加賀乙彦（作家・文京区立森鷗外記念館名誉館長）

この本は、鷗外が陸軍省の留学生としてドイツに滞在したとき、外部から来た全書簡を、読みやすく解説して刊行したものである。

父の森静男、弟の森篤次郎、妹の森キミ、それぞれに人品すぐれて感心する。海外への旅が大事であった時代の空気もひしひしと伝わってくる。

官吏であるからおのれの昇進を喜び、命令違反に慌てふためき失策を糊塗しようとする。陸軍の人々でありながら東京大学医学部出身で、二重の結び付きのある人々、賀古鶴所、小池正直、谷口謙などとの交流も目覚ましい。

医学部出身の人として、呉秀三（初の精神医学の教授）が終わりのほうに名が出てきて、ドイツの医学書を森篤次郎を中継者として購入しているのも目覚ましく思った。

留学中の鷗外の心根と、日本にいて連絡し合っていた人々との思いが生き生きと伝わってくる、これは面白い書簡集である。

待望の書簡集、

若き鷗外の羅針盤

宗像和重（早稲田大学教授）

鷗外の「独逸日記」には、しばしば「家書到る」と記されている。その抑制された表現から、言い尽くせない嬉しさがにじみ出てくるようだ。しかも家族や知友からの手紙は、鷗外に懐旧の情を催させるばかりではない。森家の動静はもとより、日本の

流行や風俗から陸軍の人事にまで及び、欧州の「燈火の海」を果敢に泳ぎ渡る鷗外の、大事な羅針盤にほかならなかった。

このたび文京区立森鷗外記念館から、研究者諸氏の心血を注いだ滞独時代前期の鷗外宛書簡の翻刻が成った。既に日本近代文学館から公刊されている後期の書簡とともに、待望の、鷗外の出発期を語るに不可欠の資料がいま全き姿を現す。遠い異国で家郷の手紙を繙く鷗外その人のように、私もまた興奮を禁じ得ない。

大事な兄の留学を支えた
家族の書簡

森まゆみ（作家・編集者）

森家は結束の固い一家だった。その中心に大事な長男、弟妹にとっては大事なお兄様の林太郎がいた。彼が明治17年8月、23歳で陸軍省より念願のドイツ留学に出発した時、家族たちが送った手紙。父の静男は旅の途次、清仏戦争を心配し、無事到着を喜び、同じ医者として日本の医療政策などについて知らせる。弟妹は「稽古のつもりで何でも書いてよこせ」と言われるままに、家族の日常から学校の成績、寄席や芝居見物まで報告する。この時家族は、宿場町・千住におり、父静男は医院を開業していた。それにしても、皆なんと優秀で、健康で、教育熱心なことか。誰一人結核や疫病などで死にはしない。それには衛生学者、森鷗外の努力と注意も大きく預かっていたに違いない。明治の明るい面を象徴する一家の記録としてかけがえがない。これに呼応する鷗外自身の手紙が読みたくなるが、それはどこへ行ったのだろうか。

【目次】

- 刊行にあたって
- 滞独期鷗外宛書簡翻刻（文京区立森鷗外記念館が所蔵する書簡151通を収録）
森静男（35）、森篤次郎（38）、森キミ（31）、森潤三郎（21）、石黒忠恵（5）、石坂惟寛（4）、緒方惟準（1）、賀古鶴所（2）、呉秀三（1）、小池正直（1）、佐藤元長（2）、斎藤勝寿（3）、清水格亮（1）、関澄桂子（2）、高野寛一郎（1）、谷口謙（1）、松田蔵雄（1）、米原綱善（1）【発行人別（ ）内は書簡数を示す。】
- 解説 ●差出人別書簡索引
- 資料集 ●人名索引

【書簡翻刻・注・解説 執筆者一覧（50音順）】

- 岩村孝子（元文京区立図書館職員）
- 大塚美保（聖心女子大学教授・森鷗外記念会常任理事）
- 小川康子（東海大学非常勤講師）
- 倉本幸弘（森鷗外記念会常任理事兼事務局長）
- 小泉浩一郎（東海大学名誉教授・森鷗外記念会会長）
- 須田喜代次（大妻女子大学教授・森鷗外記念会常任理事）
- 安川里香子（森鷗外記念会常任理事）
- 山崎一穎（跡見学園女子大学名誉教授・森鷗外記念会顧問）

滞独時代の鷗外宛書簡
全揃記念2冊セット!

価格20,000円（税込）
刊行を記念して、2冊ともに
揃いのカバー装に仕立て直した
限定150セット。

【セット内容】

- 新刊『日本からの手紙』【文京区立森鷗外記念館所蔵】滞独時代森鷗外宛 1884-1886
A5判・上製・380頁（予定）。書簡151通収録。定価12,000円（税込）
 - 既刊『日本からの手紙』【日本近代文学館所蔵】滞独時代森鷗外宛 1886-1888
A5判・上製・270頁。書簡121通収録。定価10,584円（税込）
- ※各冊、定価で分売可能です。それぞれ所蔵館にお問い合わせください。

【販売・取扱】

- 文京区立森鷗外記念館と日本近代文学館のミュージアムショップ
- ミュージアムグッズオンラインショップ「Mucolle（ミュコレ）」▶ <https://mucolle.jp/>
- 通信販売については、文京区立森鷗外記念館、日本近代文学館までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

- 文京区立森鷗外記念館 〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 電話：03-3824-5511 mail: bm-kinfo@moriogai-kinenkan.jp
- 日本近代文学館 〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-55 電話：03-3468-4181 mail: ougaiate@bungakukan.or.jp

